

令和4年度学校教育目標具現化の重点

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましさ生きる子どもの育成

すすんで学ぶ子(知)

他を思いやる子(徳)

明るく元気な子(体)

日本国憲法・教育基本法

学習指導要領等関係法

第2次福岡市教育振興基本計画

学校教育指導の重点

めざす教師像

前向きに協働する教員

【人間関係づくり】

・子どもの思いを、心で受けとめ、目の前の事実をもとに丁寧な取組ができる教師

【学習活動づくり】

・学習規律の徹底、授業力の向上を図る教師
・子ども一人ひとりの実態を把握し、個に応じた達成目標を設定して支援している教師

【環境づくり】

・整理整頓に心がけ、学習環境の意図的掲示や安全に努める教師

【共育】

・迅速・的確に保護者との連携に努める教師

楽しくて、活気あふれ、前に進む早良小

早良小スタンダード(めざす子どもの姿)

なりたい自分を考えて
ともに、よりよく、やりぬく

本年度の課題

「児童の学びの原動力づくり」「自尊感情を高め、多様性を認め合う意識・態度の育成」
「困っている子への組織的な対応」
「学校文化の改善・継承」

しっかりファイブ

重点Ⅰ【確かな学力の向上】～一人ひとりの学びの原動力づくり～

重点Ⅱ【豊かな心の育成】～自己有用感を高め、適切な自己評価ができる力の育成～

重点Ⅲ【健やかな体の育成】～自分の体を知り、楽しく仲間と体力向上～

重点Ⅳ【共育の推進】～学校文化の改善・継承に取り組む学校～

重点Ⅴ【特別支援教育の推進】～多様性を認め合う意識・態度の育成～

めざす学校像

信頼され・魅力ある学校

【人間関係づくり】

・インクルーシブ教育の確立を目指して取り組む学校

【学習活動づくり】

・多様な人とのつながりを保ちながら学ぶことができる学校

【環境づくり】

・安全で美しい環境が整った学校
・危機管理意識(リスクマネジメント)の高い学校

【共育】

・保護者、地域で連携して、学校文化の改善、継承に取り組む学校

教員の指導力の向上

チーム早良

保護者・地域との連携

具体的な方針

【Ⅰ 確かな学力の向上】

- ① 学力向上推進プランに基づく共通理解・実践
- ② 学びの意欲を引き出す活動や環境による働きかけ(学級文化づくり)
- ③ 計画的・自主的・一人ひとりの課題に応じた家庭学習(宿題・自学・予習・復習・反転学習)
- ④ 授業における言語活動の充実(ペアや小集団での話し合い・説明活動・学び合い活動・・・コロナ禍における工夫)
- ⑤ 算数科における授業改善(全学年でのTT・少人数指導、レディネステの実施と活用、ふり返り活動、必要感を大切にされた対話的な活動)
- ⑥ ICT教育の推進(日々の授業でのICT端末・プロジェクト)による授業の工夫
- ⑦ 読書活動の充実・言葉を育てる取組(読書タイム、多様な読書活動、教室環境)
- ⑧ 漢字スキル・算数アイテムの効果的な活用

【Ⅳ 共育の推進】

- ① 学習参観、土曜日授業、学校公開週間の工夫
- ② 情報発信による学校教育の理解(学校HPを定期的に閲覧する保護者の増加)
- ③ 学校文化の継承のための教職員の共通理解(地域との共催の行事等の改善)
- ④ SGNの連携

【GIGAスクールの推進】

- ① デジタルシティズンシップ教育への転換
- ② 児童のタイピング能力の向上
- ③ 授業における1人1台端末の道具化
- ④ タブレットタイム・日常、オンライン授業の工夫

【Ⅱ 豊かな心の育成】

- ① QU・友だち・いじめ・学級カン ケートを活用した学級経営
- ② 等身大の自分を認識するための適切な自己評価能力の育成
- ③ いじめ0宣言を大事にした学級経営(いじめ解決100パーセント)
- ④ 道徳の授業改善(考え、議論する道徳)
- ⑤ 相手・場面を意識した言葉づかいの意識化と定着、あつたか言葉の取組
- ⑥ 情報モラル教育の推進(児童の実態把握と低・中学年での早期の教育)
- ⑦ 他者と関わる体験活動、ボランティア活動
- ⑧ キャリアパスポートの活用

【Ⅴ 特別支援教育の推進】

- ① 教育のユニバーサルデザイン(「人的環境」「授業」「教室環境」)の推進
- ② 特別支援教育の研修の充実(なのはな学級でのT2)
- ③ 交流教育・居住他校交流の充実と合理的配慮の共通認識
- ④ SC、SSW、学校生活支援員との連携強化(合同情報交換会の開催)
- ⑤ 児童支援連絡会の効果的開催

【危機管理意識の向上】

- ① けがによる保健室入室数の減少
- ② 自分たちで判断できる力を育てる避難訓練の実施(教職員、児童ともに)
- ③ 月1回の安全点検の徹底

【Ⅲ 健やかな体の育成】

- ① 新体力テストの結果分析による体力向上の学年・全校での取組の実施
- ② 朝の時間・休み時間の外遊びの推奨(児童の遊びの多様化)
- ③ 栄養教諭と連携した食育の推進
- ④ 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進(PTAやSGNとの連携(家庭力の向上))

【総合的な学習における授業改善】

- ① ゴールを設定し、児童の問題解決の意欲を高める単元構成
- ② プレゼンテーション能力の育成(学年で系統的なスキルの育成)
- ③ ポートフォリオの活用
- ④ ESDに位置づけられている学習を意識した教育計画

【環境力の向上】

- ① 心を育てる環境づくり(朝の縦割り清掃・ボランティア清掃・ランドセル棚・靴箱・傘棚の整理)
- ② 子どもの意欲を向上させる教室・校内掲示(自学・委員会、クラブ活動・総合学習の成果・全校読書量)

【働き方改革】

- ① 教職員の定時退校日を意識した仕事の遂行(退校予定板、仕事の見える化ができる連絡板)
- ② 最終退校時刻の設定(20時)
- ③ 「直後プラン」による校務改革